

教科	科目名	単位数	学年	学科またはコース	履修
数学	数学A	2	3	全学科	選択

(1) 科目のねらい、使用教材など

科目のねらい	場合の数と確率、整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材など	「改訂 新数学A」(東京書籍)、補充プリント

(2) 年間予定

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一学期	4 5 7	27	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数 3 和の法則と積の法則 4 順列 5 順列の利用 6 重複順列 7 円順列 8 組合せ 9 組合せの利用 2節 確率 1 確率の意味 2 確率の計算	(数学Iの復習) * 集合の考え方を理解する。 * もれなく重複なく数える。 * 順列の求め方を理解する。 * さまざまな順列を考察する。 * 組合せの求め方を理解する。 * 確率の意味を理解し、確率の計算ができる。
二学期	8 9 12	28	3 独立な試行の確率 4 反復試行の確率 5 条件つき確率 3章 整数の性質 1節 約数と倍数 1 約数と倍数 2 最大公約数と最小公倍数 3 ユークリッドの互除法 2節 整数の性質の応用 1 方程式の整数解 2 分数と小数 3 2進法	* 確率に関する定理を理解する。 * 約数と倍数の違いを理解する。 * 最大公約数・最小公倍数を求めることができる。 * ユークリッドの互除法を理解する。 (数学Iの復習) * 2進法と10進法の違いを理解する。
三学期		3	(総復習)	

(3) 評価の観点

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨	数学のよさを認識し、問題の解決に向けて学んだことを積極的に活用しようとする。	物事を様々な視点で捉えるなど数学的な見方や考え方を身につけている。	問題の解決に向けて基本的な計算や数学的な処理が短時間で正確にできる。	定義、公式、法則等を正しく理解し、数学の基礎知識を身につけている。
評価方法	出席状況等(確認) 課題提出等(点検) 授業の様子(観察)	定期テスト(採点) 小テスト等(点検) 授業の様子(観察)	定期テスト(採点) 小テスト等(点検) 授業の様子(観察)	定期テスト(採点) 小テスト等(点検) 授業の様子(観察)

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	定期テスト(中間・期末・学年末)は年5回あります。 定期テストは、原則として100点満点で出題されます。 学期のテストの評価は、テストの素点の7割とします。	70点
②平常点	授業に休まず参加すること。 課題は期限を守って提出すること。 授業中の発言・発表では積極的に行うこと。	30点